

---

ボーイング向け供給の安定化図る

## 東レ、米国子会社が炭素繊維樹脂シート of 生産増強

Edited By LogisticsToday On 2014/01/27

---

東レは27日、米国子会社の東レコンポジット・アメリカ社（TCA、ワシントン州タコマ市）が、炭素繊維「トレカ」を使用したプリプレグ（炭素繊維樹脂含浸シート）の生産設備を増強すると発表した。航空機や自動車用途向け高付加価値プリプレグの生産に対応した高性能設備を導入し、2016年1月に生産を開始する計画。

TCAでは、主に米国の航空宇宙用途や自動車用途向けにトレカプリプレグを生産しているが、昨年11月にボーイング787型機の組立機数が月産10機に到達したことを受けて、既存の生産設備はフル稼働を続けている。

今回のTCAでの生産設備増設は、ボーイング社が昨年10月に787型機の組立機数を現在の月産10機から2016年に月産12機に引き上げることを決定したことに対応するもので、同社の設備認定を取得することで、787型機向けトレカプリプレグの安定供給を実現する計画。

東レグループでは現在、日本の石川工場で、15年2月の稼働に向けてIT機器の筐体、ボンネットやルーフといった自動車の外板など、高い品質安定性を求められる産業用途向け高付加価値トレカプリプレグ生産設備の増強工事を進めている。

昨年12月には、石川工場から787型機用にプリプレグを初出荷するなど、愛媛工場を含めた世界3拠点でトレカプリプレグの供給体制拡充と高付加価値化を積極的に推進している。

今回のTCAでの増設により、787型機の増産に確実に対応するとともに、さらなる需要拡大が見込まれる高付加価値品市場へのトレカプリプレグの安定供給体制を強化することとなる。

---

Article printed from Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト : <http://www.logi-today.com>  
URL to article : <http://www.logi-today.com/93022>  
Copyright © 2019 Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト. All rights reserved.